

インフラ管理システム

導入事例



ガス配管、上下水道、CATV等、設備情報をデータ化し属性情報とともに一元管理

ガス、上下水道、CATV等の設備情報を地図上に表示し、パソコン画面上で管理します。設備・工事台帳等の属性情報とデータ連携し一元管理することで、業務効率の向上を図ることができます。

設備情報の管理

ガス、上下水道、CATV等の設備情報を地図データ上へビジュアルに管理することができます。
設備情報は、例えば管径別に線種や色を分類することで視覚的に誰にでも、分かりやすく把握できます。また、電柱と電線、下水管路とマンホール等、属性の違う設備情報を同じ地図データを共有したまま別のレイヤ(階層)に管理することができます。
このようにMAPINが持つレイヤ機能を応用することで、設備の設置状況を地図データとともに確認でき、維持管理業務の精度を向上することができます。



属性情報の管理

設備管理を行えるだけでなく、既存の設備・工事台帳等の属性情報と連携させることにより、トータル的な管理を行うことができます。
例えば、地図上の設備をクリックして、その属性情報を同一画面上に表示させることも可能です。また、現地に撮影した画像データを連携すれば、さらに詳しい情報を管理することができます。
このように、設備情報+属性情報を地図データと連携しながら管理することで、分散された既存情報の一元化が実現し、他部署からの問い合わせ等にもスピーディーに対応することができます。



顧客情報の管理

さらに、設備情報+属性情報に加え、サービスを提供する需要者の顧客情報と連携することも可能です。
例えば、工事のためにサービスを一時的に停止しなければならない状況が発生した場合、その影響度合いを各情報を元にシミュレーションし、最適な作業計画を立案した上で、お客様に対し迅速に通知することができます。
これまで、異なる部署間で滞っていた情報伝達をスムーズにした上で、情報を共有化することによるメリットを最大限に活かしたシステムを構築していただくことができます。



導入効果

- ・設備情報や属性情報の一元管理による情報統合
- ・工事、保守等の作業管理業務の精度向上
- ・設備管理業務に関する処理スピードアップ

MAPIN導入により、このような効果を見込むことができます。MAPINは従来型のGISと異なり、ユーザーのニーズに合ったシステム構築が可能な「データベース機能向上支援ツール」を基本コンセプトとして開発しています。MAPINは企業の保有する情報資産と、地図データを柔軟に連携することができるソフトウェアです。

